

広報



# かたひがし

No.247

昭和58年

12月

健康で文化の香りただよ村

□発行 新潟県潟東村役場

□編集 総務課



「ちよつぴり緊張  
就学時健康診断」

《村の動き》 人口 男3,096(-1) 女3,203(+2) 合計6,299(+1) 世帯数1,192(-1) 10月31日現在

### 健康づくり我が家の 食卓コンクール応募献立表

区分	献立名	材料名	6人分・目安量
朝食	ごはん 味噌汁 ハムエッグ	●米 ●わかめ、豆腐 長ねぎ、味噌 ●卵、ボンレスハム レタス、トマト	4合 100g、1/2丁 少々、大さじ3 中6個、6枚 3枚、中2ヶ
	煮豆 漬物	●大豆、昆布、人参 干しいたけ、こんにゃく ●白菜、きゅうり	
昼食	ごはん すまし汁 ※カレイの唐揚げ おろし煮 サラダ	●米、グリーンピース ●はんぺん、ほうれん草 ●冷凍カレイ 大根おろし ●レタス、トマト キュウリ、人参 サラダドレッシング	4合、カップ1 3枚、少々 6切 中1/2本 1/2個、3ヶ 2本、4~5cm
	ひじきと油揚げの煮物	●ひじき、油あげ	
夕食	ごはん 味噌汁 ※ロールキャベツ	●米 ●かぶ(菜を含む) みょうが 味噌 ●キャベツ、玉ねぎ 豚、とり合挽き肉 ベーコン、卵 牛乳、パン粉 スープの素、ケチャップ	4合 中3ヶ 少々 大さじ4 12枚、中1 1/2個 300g 12枚、1個 少々、大さじ4 2ヶ、大さじ6
	※いわしのぬた ほうれん草の浸し 漬物	●いわし、きゅうり 大根、あさづき 人参、生姜 ●ほうれん草 花かつお ●白菜	中2尾、1本 中1本、4~5ヶ 4~5cm少々 大株5
間食	ミルクゼリー 果物添え	●牛乳、砂糖 ゼラチン、バナナ グレープフルーツ	400cc、大さじ6 10g、2本 1ヶ

**いわしのぬた**

- ①いわしはよく洗って塩を振り、頭と骨を抜いて、一口位の大きさに切って、酢につけておく。
- ②大根はおろして、汁気を軽くしぼる。
- ③きゅうりは縦に二つ切りにし、さらに斜めにうすく切って塩もみをし、汁を絞る。
- ④人参はせん切りし、塩をかるく振る。
- ⑤あさづきは一ヶを2~3切りにし、熱湯を通す。
- ⑥しょうがは千切り。
- ⑦味噌、砂糖、酢をすりばちですり合わせ、材料をあえる。

健康づくり  
我が家の食卓コンクールより  
献立をみて  
最終回

良く工夫されている第一点として老人から子供に至る三世代の好みをうまく取り合わせてあること、第二点として一日に必要な各種の栄養が偏りなく取り入れてあることとです。その主なことは、  
①体の基礎を作る蛋白質(卵、魚、肉、大豆製品)が毎食二~三品きちんと摂っている。  
②緑や黄色の野菜を含む色々な野菜をたっぷり使っている。  
③一日の活動源となる朝、昼に油を使っていることとです。

**カレイの唐揚げの煮**  
①冷凍のカレイをもどし、塩、酒をふりかけ、片栗粉をまぶし油で揚げます。  
②鍋に水カップ1、みりん、醤油各大さじ2を煮立て①のカレイを入れて五分程弱火で煮る。おろしぎわに火を大きくし、大根おろしの水気をかるくしぼって入れ、煮立ちしたら火を止める。

**ロールキャベツ**  
①キャベツはしんなりする程度にゆでる。  
②ひき肉、牛乳でしめらせたパン粉、卵、玉ねぎ(油でいため、冷ましておく)をねばりが出る位までよく混ぜ合わせ、塩、コショウをする。  
③②を12等分し、①のキャベツでしっかりと巻き、さらにベーコンでまいて楊子でおさえる。  
④鍋に水カップ3とスープの素、ケチャップ、塩、コショウを加え、③を入れて弱火で三十分程煮る。  
⑤残りの煮汁はとろ味をつけ、盛り合わせた上からかける。



なお、暇な時に作っておく常備菜を上手に使うことは食卓に彩りを添えると共に多忙な主婦の知恵としてぜひ工夫したいものですが塩分の取り過ぎにならないよう注意したいものです。(保健婦)

## 第二回鴻東村 社会福祉大会開かれる



去る十一月十二日午後改善センターにて第二回鴻東村社会福祉大会が開かれました。  
当日は朝から雷雨で、しかも風が強く荒天の日でありましたが、その中を約百八十名の方が参加されました。  
大会は、まず第一部としての分科会(福祉なんでも相談会)から始まりましたが、第一分科会青少年・児童部会では、最初に、戸田勝紀警察防犯課主任より、西浦

及び鴻東村の少年非行の現状の説明、次いで、井上善津保西浦原社会福祉事務所社会課主任より、県の青少年対策の説明がなされました。  
鴻東村における少年非行としては、犯罪少年より悪少年(喫煙、飲酒、深夜徘徊等)が増加していること、非行が広域化(巻簾だけでなく、白根、新鴻へ)していることなどがあげられていました。その後参加者の意見交換に移り、(1)万引防止のため、商店、家庭、警察、学校の連携を密にすること、(2)家庭での子どもの役割を確立すること、(3)健全な団体を育成すること、(4)鴻東村として、積極的に個性的な子どもを育成していかなければならない。など、活発な意見が出されました。  
第二分科会身障・精神部会では最初に、西浦原社会福祉事務所の押木社会福祉主事より、身障、精神関係の実態や、問題点などの説明がありました。その後、参加者

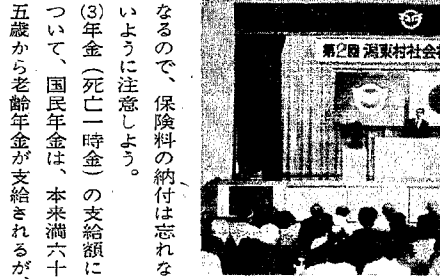
の質疑応答に入り、事例をあげての積極的な意見や、答弁がなされました。特にこの部会では、いろいろのハンディキャップをもっている中で表に出せない共通の悩みをもっていることで、障害者の社会復帰を願望し、家族ぐるみでいろいろな問題の取り組み方について話が進められました。  
要望としては、精神施設の数を増やすことや、就労場所を確保できるような施策を望む声があり、活発な話し合いが行われました。  
第三分科会老人・父子母子部会の内容は、最初に、西浦原社会福祉事務所の赤川社会福祉主事より、県の老人福祉及び母子、父子福祉施策の説明がありました。特に今年度は、老人福祉法制定から二十年目を迎える種々の行事が開催されるため、老人福祉対策の充実が叫ばれているとの報告がなされ、参加者の賛同を得ました。その後、質疑応答に移り、参加者から積極的な質疑、及び意見が出され、それについて助言者の答弁があり、熱のこもった分科会となりました。まとめとしては、孤獨な老人を作らない、作らせない家庭環境の

改善、誰にでも好かれる老人にろうという意識を持つことが何よりも大事であるとの意見があり、老人ホーム等の改善で施設へ入所しやすくした今日、原点に戻った老人教育が、より大切なことと思われました。  
第四分科会年金部会の内容は、最初に、三条社会保険事務所の梅田業務一課長より年金についての説明がありました。その後、部会の参加者より事例をあげての話し合いが行われました。  
(1)通算老齢年金について。(2)無年金者について。(3)年金(死亡一時金)の支給額について。が主に話題となり、(1)通算老齢年金については、現在年金は、皆加入となっている。国民年金を始めとして、年金は数珠のようにつながっている。で、裁定請求を忘れないように。また、昭和十七年一月に労働者年金保険制度(昭和三十六年四月一日に厚生年金保険となった。)に加入しておられた人(一時金をもらった人は除く)で、裁定請求もれがあるので留意してほしい。  
(2)無年金者について、国民年金は、二十五年(三〇〇月)以上保険料を納めないと年金受給資格が無く

なるので、保険料の納付は忘れないように注意しよう。  
(3)年金(死亡一時金)の支給額について、国民年金は、本来満六十五歳から老齢年金が支給されるが、鴻東村では、繰上げ支給を希望する人が多く、年金額が減額されて損をしている。死亡一時金については、もっと増額してほしい。など活発な話し合いが行われました。  
また、第二部の記念講演では元武蔵野女子短期大学講師で現在三島郡和島村「隆泉寺」住職の上戸大圓先生から「これからの福祉について」と題して宗教家の立場を織り込んで人間の生き方等、約一時間三十分の講演があり、参加の皆さんは熱心に聴講されました。

の質疑応答に入り、事例をあげての積極的な意見や、答弁がなされました。特にこの部会では、いろいろのハンディキャップをもっている中で表に出せない共通の悩みをもっていることで、障害者の社会復帰を願望し、家族ぐるみでいろいろな問題の取り組み方について話が進められました。  
要望としては、精神施設の数を増やすことや、就労場所を確保できるような施策を望む声があり、活発な話し合いが行われました。  
第三分科会老人・父子母子部会の内容は、最初に、西浦原社会福祉事務所の赤川社会福祉主事より、県の老人福祉及び母子、父子福祉施策の説明がありました。特に今年度は、老人福祉法制定から二十年目を迎える種々の行事が開催されるため、老人福祉対策の充実が叫ばれているとの報告がなされ、参加者の賛同を得ました。その後、質疑応答に移り、参加者から積極的な質疑、及び意見が出され、それについて助言者の答弁があり、熱のこもった分科会となりました。まとめとしては、孤獨な老人を作らない、作らせない家庭環境の

改善、誰にでも好かれる老人にろうという意識を持つことが何よりも大事であるとの意見があり、老人ホーム等の改善で施設へ入所しやすくした今日、原点に戻った老人教育が、より大切なことと思われました。  
第四分科会年金部会の内容は、最初に、三条社会保険事務所の梅田業務一課長より年金についての説明がありました。その後、部会の参加者より事例をあげての話し合いが行われました。  
(1)通算老齢年金について。(2)無年金者について。(3)年金(死亡一時金)の支給額について。が主に話題となり、(1)通算老齢年金については、現在年金は、皆加入となっている。国民年金を始めとして、年金は数珠のようにつながっている。で、裁定請求を忘れないように。また、昭和十七年一月に労働者年金保険制度(昭和三十六年四月一日に厚生年金保険となった。)に加入しておられた人(一時金をもらった人は除く)で、裁定請求もれがあるので留意してほしい。  
(2)無年金者について、国民年金は、二十五年(三〇〇月)以上保険料を納めないと年金受給資格が無く



第二回鴻東村社会福祉大会

講演会

『癌(がん)で死なないために』

健康展

秋晴れに恵まれた十一月三日、東小学校文化祭の当日、一般村民約六十名の参加を得て、医学博士吉田稜氏の講演会を開催しました。その講演会の一部をお伝えいたします。

『私は子宮ガンが治った』

Y・H (五十九歳)

一、はじめに 癌は遺伝より環境、即ち食べ物をはじめとする健康にかかわりのあるあらゆるものが大きく影響すること。 二、癌はどのようして発生するか 体の最小単位である細胞が、ある日突然正常な細胞から癌細胞に突然変異する、その際ある種の発癌物質が関係する。 三、数え切れない発癌物質 ある種の化学物質や植物その他に数え切れない程発癌性が証明されており、今後ますます増えていくと考えられる。 四、日本人に増えている腸がんとぼう、さつま芋等で代表される繊維の多い野菜の摂り方が減ったことが第一の理由として考えられる。特に肉食中心に偏き

がんをはじめとして殆どの癌は一〇〇%治る。その為に年一回の定期検診を欠かさない。発癌物質に関しては神経質になることは避ける。ただし毎日同じ食品、例えばインスタントラーメンが好きだと言つて毎日それを食べるという事は避けなければならぬ。(保健衛生課)

ないと言われれば四人の母親であり家族を思い、また自分自身のためにも無理をしないようにと自分についても言い聞かせておりました。病院、保健所、役場の方がたにお世話になりましたが幸いに一年毎に体力もついてまいりました。月日の流れるのは早いもので手術

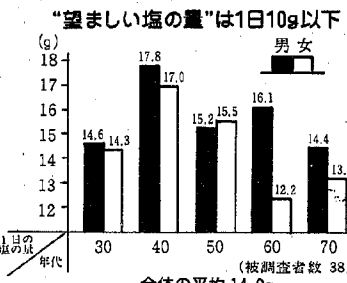
後十六年たちました。今では病気になる前と同じように毎日元気で働けるようになりました。私にとっては検診は生命の恩人で有難く感謝の気持ちでいっぱいです。私の体験から早期発見早期治療のためにみんなが検診を受けられるよう望みたいものです。

健康シリーズ 17

まだまだ多い一日に摂っている塩の量

男女とも40代がトップ

日本人の食事は、古くから味噌汁、漬物を中心とした副食に、米飯を腹いっぱい食べるのが習慣になっていきましたが、食生活が豊かになった現在もその傾向は変わりません。塩と血圧の関係が最近問題となってきていますが、統計的にみても塩を多くとっている地域ほど血圧の高い人が多いという傾向がみられます。塩を減らすことが叫ばれている理由のひとつはここにあるわけです。 塩をひかえめにするには、当然漬物だけの食卓から、野菜、肉、魚、卵などいろいろなバランスのと



日本人の食事は、古くから味噌汁、漬物を中心とした副食に、米飯を腹いっぱい食べるのが習慣になっていきましたが、食生活が豊かになった現在もその傾向は変わりません。塩と血圧の関係が最近問題となってきていますが、統計的にみても塩を多くとっている地域ほど血圧の高い人が多いという傾向がみられます。塩を減らすことが叫ばれている理由のひとつはここにあるわけです。 塩をひかえめにするには、当然漬物だけの食卓から、野菜、肉、魚、卵などいろいろなバランスのと

新民生委員が委嘱されました

このたび民生委員の一斉改選が行われ、次の方がが十二月一日付で厚生大臣から委嘱されました。ご存じのことと思いますが、民生委員は、社会奉仕の精神をもって生活に困っている人の相談に際するなど福祉全般について指導にあたるとともに、役場、福祉事務所等関係機関に協力することとされております。

その具体的な活動の主なものとして生活に困っている人の相談及び助言指導 ○ 児童福祉について相談及び助言指導 ○ 世帯更生資金の貸付に関する協力 ○ その他福祉に関することとなつておりますが、この他に村社会福祉協議会の役員としてそ

新民生委員(敬称略)

- 井随担当 武田 武 電話 二二〇三
○五之上担当 高橋 実
○島方担当 山崎 忠平 電話 二九八八
○三方担当 小林 イツ 電話 二六四五
○横戸担当 石井 三代太 電話 三五九三
○渡辺 庄一 電話 二二五二
○若林・卯八郎担当 赤塚 一雄 電話 二二二七
○遺藤担当 佐藤 久松 電話 一四一七

言指導

- 老人福祉について相談及び助言指導
○身体障害者の福祉について相談及び助言指導
○精神薄弱者の福祉について相談及び助言指導
○母子、父子の福祉について相談及び助言指導
○世帯更生資金の貸付に関する協力

の活動の中心となつて地域の福祉を高める推進役を果たしていただいております。

このように民生委員は社会福祉の縁の下力も的なる職務であります。皆さんも、何かお困りのことがありましたら、担当地区の民生委員にご相談ください。

募集 保育所 入所児童

昭和五十九年四月からの保育所入所児童を次のとおり募集いたします。 1、入所募集人員 東保育園 一一〇名 西部保育園 九〇名 南保育園 八〇名 (内未満児は、各保育園とも二割程度とする。) 2、入所資格 濁東村に居住する児童で保育に欠ける児童。 3、募集期間 昭和五十八年十二月一日、昭和五十八年十二月二十日まで 4、申込先等 入所を希望する児童の保護者は

新潟県史刊行の案内

新潟県が立県百年の記念事業として、編さんを進めている「新潟県史」は、昨年度に続いて、59年3月末には五巻が刊行されることになり、刊行予定の五巻は、県内外の貴重な未公刊史料を多数紹介しており、新潟県を知る上で不可欠の資料編です。 昨年度までに刊行された十六巻も御高評を得て、県内外の方がたに愛読されています。この機会に多くの皆様のお購読をお勧めします。 申込先 〒951 新潟市学校町通1番町602番地 新潟県総務部県史編さん室 電話 代表23-5511 申込方法はがきに住所・氏名・購入巻名・冊数・公称用別・電話番号などを記して、お申込みください。くわしくは役場総務課へおたずねください。

入所希望保育園に入所申請書を提出のこと。

- 5、保育所入所できる基準 (母親以外の人が児童を保育できる場合は入所できません。) (1) 児童の母親が昼間家庭の外で仕事をすることが普通で、その児童の保育が出来ない場合。 (2) 児童の母親が昼間家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通で、その児童の保育が出来ない場合。 (3) 母親の死亡、行方不明等により母親がいない場合。 (4) 母親が出産の前後であったり、病気であったり、心身に障害があったりするので、その児童の保育が出来ない場合。 (5) その児童の家庭に長期にわたる病人や心身に障害のある人がいるため母親がいつもその看護にあたり、その児童の保育が出来ない場合。 (6) 火災や風水害などの不幸があり、その家庭を失ったり、破損したためその復旧の間、児童の保育が出来ない場合。 (7) 提出書類 保育できないことを証するもの(源泉徴収票の写、内職先の証明書、土木建設業等の臨時雇を証するもの、病気の時は診断書など) 注/この証明書等は必ず提出すること。提出がない場合は入所できません。 7、入所申請書は、役場及び各保育園に用意してあります。

# おとごけします 公民館だより

## 明るい家庭づくり

### 地域懇談会を終えて

今年も、青少年育成村民会議の地域懇談会が、村内十会場、延べ参加者二〇〇名で開催されました。今年度は、講師として、村内各小中学校の校長先生、県教育庁下越教育事務所社会教育主事の堀晃先生、金子允豊先生、西蒲保護司会の堂谷哲夫先生をお招きし、明るい家庭、明るい地域づくりについてのそれぞれの立場での御提言をいただき、その後参加者による意見交換に移りました。各会場とも活発な意見が出され、青少年問題についての関心の深さが伺われました。以下、講師の提言内容と参加者の意見を要約します。

〔講師の提言〕

- 1、現代社会は、環境的にも、精神的にも非行の起き易い状況にある。家庭教育では、それらを克服できる子どもの育成に心がける必要がある。
- 2、父親の権威を回復しなければならぬ。鍛え導く父、慈しみ育む母としての役割分担を。嫉の基本は善悪のけじめをつけることである。
- 3、道徳性の涵養は、家庭での親の姿である。
- 4、地域、家庭、学校が連携を密にしていかなばならない。
- 5、子どもにとっては勉強が大切な時期にやれば身につかぬ。

〔参加者の意見〕

- 1、喫煙・飲酒等は、家庭でも容認する傾向がある。考える必要がある。
- 2、他人の子どもを叱つたり注意していく勇氣を持とう。また、自分の子どもが叱られたら感謝する気持ちを持つとう。

3、湯東村は、小・中学生の非行より高校進学後の非行が問題である。その対策を考えねばならないのでは、

4、地域における教育力を回復するには、まず、親同志が連携しなければならぬ。いがみ合う地域であつてはならない。

5、三世大家族が多いので、祖母、両親とも子育てに対して共通意識を持つていこう。

その他、たぐさんの提言、意見発表がなされ、有意義な懇談会でありました。青少年健全育成は、家庭内の融和、学校・地域の連携・連携をより深めていく必要があることを改めて理解しました。

## 熱戦!!

### バレーボール大会

十一月六日(日)湯東中学校、体育館で村民バレーボール大会が、参加十五チーム(六人制五チーム、九人制十チーム)を集め開催されました。

この大会は青年の大会が発展し四年前から村民大会とし、参加チームも増えた伝統のある大会です。少しは寒い日でしたが、会場は熱気でムンムン。「ソーレ、ワソッ、スリー」と掛け声がびびいていました。

大会結果は次のとおりです。

- ☆六人制
- 一位 野球クラブチーム
- 二位 消防署チーム
- 敢闘賞 卯八郎受チーム
- ☆九人制
- 一位 湯中Aチーム
- 二位 消防署チーム
- 敢闘賞 お楽しみバレーボールチーム



## 菊花展・収穫展 特別賞受賞者

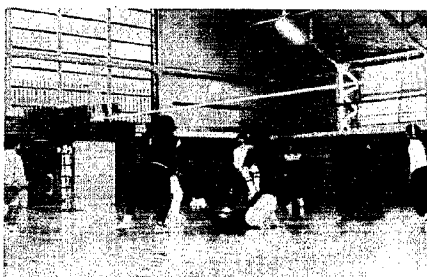
- 〔菊花展〕
- 村長賞 杉山 静男
  - 議会議長賞 杉山 静男
  - 教育長賞 竹内 敬美
  - 公民館長賞 佐々木新七
  - 菊花同好会長賞 武田 倉蔵
  - 社会福祉協議会長賞 杉山 静男
  - 農業協同組合長賞 武田仁四郎

- 農業振興協議会長賞 武田 倉蔵
- 商工会長賞 伊藤 修二
- 農業共済組合長賞 幡本 マス
- 総代会長賞 小林 ハル
- 西蒲原土地改良区湯東支所長賞 佐々木芳衛
- 審査員長賞 杉山 静男



### 〔収穫展〕

- 村長賞 高井春江(卯八郎)
- 議会議長賞 永野ハル(番屋)
- 教育長賞 星野トラ(国見)
- 公民館長賞 小林スミ(島方)
- 婦人会長賞 本間英子(横戸)
- 農協組合長賞 増井ソヤ(横戸)
- 農振協議会長賞 田辺洋子(称名)



# 空カンの空缶拾いをやろう

## 道路の空カン拾いを実施

### ―連合青年団―

十月三十日(日)湯東村連合青年団(団長滝沢精)は、村内県道の投げ捨てられた空缶拾いをやりました。

午前七時三十分十四名の男子団員は、寒い朝にもかかわらず元気に役場に集合した。



滝沢団長より「車に気をつけて事故のないようにやろう、若者は絶対に空缶、ごみの投げ捨てはやめよう」とあいさつを受け、それぞれ大きなポリ袋を手に出発地点に散った。

県道を徒歩で一つひとつ拾い集めること約二時間、袋いっぱいにつめ、十時には集合場所の農業会館前には、空缶の山となった。

あなたは、車を運転中に空缶が道路にあり、ハンドルを回すことがあると思います。事故に合いそ

うになった話も聞きます。空缶の投げ捨てはやめましょう。

湯東連合青年団は、空缶拾いは初めてでしたが、今後も青年の手で出来る奉仕活動を続けていきたいと思います。



拾い集めた空カンの山

# ご協力ください

## 昭和58年工業統計調査 石油等消費構造統計調査

通商産業省では、この2つの調査を12月31日現在で行います。工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、有形固定資産額を明らかにすることを目的としています。

また、石油等消費構造統計調査は、商工業における石油等消費の実態を明らかにすることを目的としています。

調査の対象となった事業所には、年末年始にかけて調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。



**停電のお知らせ**

十二月二日(金)  
九時~十二時  
今井の二部(南小付近)

## 稚魚を放流

### 旧木山川へ

十一月十日、旧木山川へ稚魚を放流しました。これは、毎年行われているもので、今年は約一万匹を放流しました。

第二十三回新潟県菊花展賞金が十一月一日より弥彦神社で開かれました。湯東村から小菊、直幹の部で見事に特別優等賞に井隨の幡本マさんが受賞されました。

弥彦の菊花展は県内で最大規模のもので、全国的にも有名な菊花展です。そこでの入賞は菊づくりの目ざすところでありました。



幡本さんは菊づくり二年目で今年も弥彦、白根、湯東の菊花展に出しました。湯東の菊花展では、農業共済組合長賞を懸がいの部で入賞されておりです。

幡本さんは、菊づくりの外に、春、秋と山歩きが大好きだそうです。入賞おめでとうございます。

# お知らせ

26	23	23	20	18	13	12・7	月・日
月	金	金	火	日	火	水	曜日
乳児検診	青年団クリスマスダンスパーティー	糖尿病教室④	ポリオ生ワク	献血	循環器指導会	三種混合Ⅱ期	行事
〃	〃	〃	〃	〃	〃	改善センター	場所

十二月四日～十日  
**第三十五回人権週間**  
 今年も人権週間が始まります。  
 毎年十二月十日を「人権デー」として、この十日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、人権の理解と人権意識を高める行事を行うことになっております。  
 これは、昭和二十三年十二月十日国際連合総会において世界人権宣言が採択され、加盟各国が人権の自覚とその高揚のための諸行事を実施することとし、わが国でもこれを実施することになっているからです。  
 ▼人権週間中の強調事項  
 「人権の共存」  
 互いに相手の立場を考慮して豊かな人間関係をつくらう」

## 鯉濁清掃工場・衛生センター 年末年始・休務のお知らせ

区分	12月28日(休)	29日(休)	30日(休)	31日(休)	1月1日(休)	2日(休)	3日(休)	4日(休)
清掃工場	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり
衛生センター	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり	平常どおり

「部落差別をなくそう」  
 「婦人の地位を高めよう」  
 「障害者の完全参加と平等を実現しよう」  
 人権擁護の相談は委員の  
 ○茨 島 片野 栄 二九一三  
 ○水沢新田 岡村七治 二三六八  
 へご相談ください。

## 12月分 番組編成表

日	曜	番組名	放送題名	放送者(所属)
1	木	村民アワー	文化祭を終えて	公民館
3	土	農協だより	84年受験生の宿の案内	農協観光課
6	火	〃	妻の生育状況について	農協指導課
8	木	〃	住宅金融公庫資金について	農協金融課
10	土	福祉だより	保育園入所について	役場住民福祉課
13	火	選挙だより	衆議院議員総選挙について	選挙管理委員会
15	木	役場だより	除雪について	役場建設課
17	土	農協だより	年末貯金について	農協金融課
20	火	健康カレンダー	肥満対策について	役場保健衛生課
22	木	税金コーナー	税の豆知識について	役場税務課
24	土	農村アンテナ	制度資金の活用について	農農業改良普及所
27	火	〃	果樹の休眠期防除について	〃
29	木	議会だより	12月議会を終えて	議会事務局
31	土	話のサロン	1983年をふりかえって	高橋助役

### 外科

4日 町立巻病院 巻巻 ③3111  
 11日 竹前医院 巻巻 ③2809  
 18日 県立吉田病院 吉田 ②5111  
 25日 県立吉田病院 吉田 ②5111  
 31日 新潟中央病院 新潟 ④4101

### 内科

4日 本田医院 巻巻 ③2100  
 11日 高木医院 巻巻 ③2208  
 18日 古寺医院 巻巻 ③2016  
 25日 和田医院 巻巻 2134  
 31日 吉田医院 巻巻 6650

### 十二月休日救急当番医

相田 穂苺	児玉さやか	雲郷 真	保坂 譲	笹川 直樹	齋藤 未生	尾暮 智子	小林 大志	下坂明日香	牧口麻奈美	小林 優里
哲一	綾乃	武司	明	三樹男	孝行	忠一	十三男	栄	夫	伊知
義	五之上	井	茨	五之上	国	茨	令	国	熊	熊
卯八郎受	上	随	島	上	見	島	井	見	谷	谷

梅沢 良春	渡部洋子	矢野 勝明	坂井浩子	高橋 忠之	高橋忠一郎
良春	良春	榮市	井	忠之	下大原
島	島	井	井	井	井

## 愛のこ寄付

新野智恵子先生主宰する新野社中(横戸・三方等)のおきらい会が去る十一月十三日改善センターで行われましたが、その際に集まったお金二万四千円を、また三方子供会より神送りで集まったお金四千円を、それぞれ村社会福祉協議会へご寄付されました。

村社会福祉協議会ではご趣旨に沿うよう使わせていただきます。大変ありがとうございます。